

～ リエゾン精神看護専門看護師の役割と活動 ～

精神看護専門看護師は日本看護協会が認定する専門看護師（CNS : Certified Nurse Specialist）の中の領域の一つです。リエゾン精神看護は、精神看護分野のサブスペシャリティとして位置づけられています。リエゾンという言葉は、フランス語のliaisonで「つなぐ、連携する、橋渡しをする」という意味があります。精神科の知識を必要な人や場所につなぎ、患者・家族をケアしています。

私は入職時に神経精神科病棟に配属されました。精神科の多くの患者と関わる中でストレスを自覚して対処する難しさやコミュニケーションの難しさを感じました。良い看護ができていたのか、どうしたらよかったのだろうかといった疑問が生じ、さらに学びを深めるために大学院へ進学し精神看護CNSとなりました。

現在は、精神科の外来や病棟の勤務をしながらリエゾンナースとして活動しています。活動内容は、精神科医、心理士とともにリエゾンチームでコンサルテーションを受けたり、看護師のメンタルヘルス支援を行うことです。



リエゾンチームカンファレンスの様子

リエゾンチームのコンサルテーションでは、せん妄に関する相談が多くあります。また、精神疾患をもつ患者が身体的治療のために入院している場合、精神的な治療サポートも行っています。病棟看護師から患者の様子を聞き、対応で困っていることを確認します。看護の側面からアセスメントを行い、患者対応のポイントを指導しています。病棟看護師が患者の理解を深め、自信を持って患者対応できることが、ケアの質の向上につながるため、リエゾンナースとしてサポートを行っていきたいと思っています。

看護師のメンタル支援では、メンタルヘルスに不調が生じてつらい状況にある看護師のカウンセリングを行っています。初対面で緊張している場合は、相談に来ていただけたことをねぎらい、話しやすい雰囲気を作るようにしています。体調を確認し必要であれば安全衛生管理室の方や産業医と連携し、受診を提案する場合があります。また休職された方々に体調確認を行い、復職へ向けた支援を行っています。メンタルヘルスを保つことは患者だけではなく、私たち医療者にとっても健康的な生活を送る上で重要なものです。リエゾンナースとして、患者、家族、医療者をつなぎ、よりよい治療が行えるよう連携していきたいと思います。また看護師が心身のバランスを保ち、力を発揮できるようサポートしていきたいと思います。